

NETIS登録番号	技術名称	土壌菌工法				
QS-980171-V	副題	有効土壌細菌による法面の永久緑化				
分類1	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	キーワード: 永久緑化(自然のサイクル)	
分類2					周辺在来種の遷移	
開発目標	耐久性の向上、周辺環境への影響抑制、地球環境への影響抑制、品質の向上					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号: ) <input checked="" type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	藤武産業株式会社			TEL	092-472-2094
	住所	福岡市博多区東光2-17-17-204			E-MAIL	info@tobusangyo.co.jp
	担当者	黒田 亨				
実績件数 H25.12.31現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	205件		2917件		99件	

技術概要: (300字以内)

①自然土・バーク堆肥(土壌ユーキ)・微生物複合体(有効土壌菌)を主成分とする緑化基盤を使用することで、造成法面に自然界の土壌を再現。  
 ⇒高硬度法面(岩盤)や土壌化学性の好ましくない法面(強酸性・強アルカリ性)など人為的な植生が困難である法面に、恒久的な緑化が可能。

②土や微生物の働きにより強い根が広がり、互いに絡み合うことで一枚岩のようになり、法面を強固に保護する。

③施工後の肥培管理は一切不要(自然のサイクルを実現)。

<適用範囲>

- 切土・盛土法面    モルタル法面
- 勾配                1 : 0.3 以上の緩勾配
- 土壌酸度            pH 2.0 ~ 9.0
- 土壌硬度            40 mm以内(山中式土壌硬度計)
- 寒冷地
- 瘠悪土質

<施工単価>

2014年1月現在						
項目	仕様	数量	単位	単価	金額	備考
土壌菌工法	t=5cm	1,000	m <sup>2</sup>	5,600	5,600,000	ラス金網張 含む
土壌菌工法	t=3cm	1,000	m <sup>2</sup>	4,570	4,570,000	ラス金網張 含む

<施工例>

2001年3月施工 秋田県大曲市国道道路改築工事緑化試験

勾配	土壌酸度	土壌硬度	土質
1:1.0	pH 2.6~3.4	平均35mm	泥岩・強風化泥岩

右の写真は、極強酸性土壌の切土法面に

厚層基材    t=5cm  
 土壌菌工法    t=3cm  
 バイオ種子    t=3cm

の3種の緑化工法で試験施工を行った現場です。

施工後2年経過した状態を見比べると、発育の差がはっきりと現れています。

また、他工法と比べて少ない厚さの吹付厚の施工を行っても、他工法以上の成果が実証されています。



1ヶ月経



2年経

厚層基材吹付  
t=5cm

土壌菌工法  
t=3cm

バイオ種子吹付  
t=3cm